授業科目　心理測定法

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	社会
高橋　直樹	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎		○	◎	

【概要・一般目標：GIO】

心理学が科学として成立して、これまでに作り上げてきた「心」の測定法についての知見を示す。
まず、心理測定法の概念・歴史・方法などについて概観した後、測定の内容を「性格特性」「社会的行動」「認知機能」などの領域ごとに分類して、体験学習も交えながら、心理測定法に関わる重要な事項について学習する。
また、観察法やプロトコル法、及び、統計の理論と実際についても学習する。
この講義では、受講生一人一人が、対象者を理解するための幅広い教養を身につけ、対象者の個性や多様性などについて理解するために、自ら主体的に学習し続ける意欲を持つことを目標とする。

【学習目標・行動目標：SBO】

1.「人間を測定するとはどういうことか」という問いに対して、自分なりの意見を述べることができる。
2. 心理測定の概念・歴史・方法について説明できる。
3. 心理測定の各論について、要点を理解し、説明できる。
4. 心理統計の理論と実際について、説明できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	人間を測定するとはどういうことか	1,2	講義
2	パーソナリティ・アセスメント	3	講義・実習
3	性格特性の測定	3	講義・実習
4	社会的行動の測定	3	講義・実習
5	認知機能の測定	3	講義・実習
6	観察法・プロトコル法	3	講義・実習
7	心理統計の理論と実際	4	講義・実習
8	まとめ	1,2,3,4	演習

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	特になし。適宜プリントを配布する。			
参考書	心理検査の実際	沢田丞司	新興医学出版社	2004
その他の資料	適宜プリントを配布する。			

【評価方法】
筆記試験
出席状況
受講態度

【履修上の留意点】
本講義では受講生の座席指定をおこなう。
学生の積極的な授業参加を期待する。
遅刻・早退・授業中の私語や飲食などは、大幅な減点対象となる。
本講義の学習内容を、医療福祉の現場において活用しようとする姿勢が求められる。